

第18回 山ノ内町議会報告会 結果報告



[東部上会場の様子]

山ノ内町議会

電話 33-1101 FAX 33-4355

E-mail : gikai@town.yamanouchi.lg.jp

御礼のごあいさつ

日ごろは議会活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。1月19日の北部会場を皮切りに全5会場で議会報告会を開催することができました。地元の役員様のお力添えで、148人にのぼる多くの方にご出席を賜りましたこと、心から感謝を申し上げます。

また、今回は「人口減少社会におけるまちづくりをどう考えるか」をテーマに大変活発な論議と、たくさんのご意見やご質問をいただきました。町に対する住民の思いや地元の要望などを身近に知ることができ、あらためて町の行政を^{ただ}質していく思いを強くすることができました。

今回、皆様からお寄せいただいたご質問やご要望に関しまして、所管課へ伝えると共に、今後の議会・議員活動に活かして参ります。

議会報告会のまとめを編集させていただきましたので、ぜひご覧いただき、今後の議会活動へのご理解を深めていただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

議会議長 湯本 晴彦

～ 目 次 ～

○結果報告書（開催日順）	ページ
（北部会場）	1
（東部上会場）	3
（南部会場）	5
（東部下会場）	6
（西部会場）	8
○意見交換会まとめ	
【北部会場】	10
【東部上会場】	12
【南部会場】	16
【東部下会場】	21
【西部会場】	25
○参加者アンケートの結果	29

第 18 回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（北部）

日 時	令和 7 年 1 月 19 日（日）午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
場 所	すがかわふれあいセンター
参加人数	住民参加者 14 人 議員 12 人 事務局 1 人
地元 協力団体	須賀川区
議員 役割分担	<p>総括責任者 徳竹栄子</p> <p>司会進行 徳竹栄子</p> <p>記録者 小林克彦</p> <p>出席議員 小田孝志・畔上恵子・小林仁・志鷹慎吾・塚田一男・湯本るり子 ・徳竹栄子・高田佳久・渡辺正男・山本光俊・小林克彦・白鳥金次</p>
次第 (担当者)	<p>1. 開会 司会者 徳竹栄子</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 副議長 白鳥金次</p> <p>(2)共催者代表 須賀川区長 下田清人</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会報告</p> <p>①予算決算審査委員会 白鳥金次</p> <p>②総務産業常任委員会 塚田一男</p> <p>③社会文教常任委員会 高田佳久</p> <p>④広報常任委員会 小林 仁</p> <p>⑤議会運営委員会 山本光俊</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 班別意見交換会</p> <p>第 1 班 司会 高田佳久 記録 畔上恵子</p> <p>第 2 班 司会 山本光俊 記録 小田孝志</p> <p>5. 班別意見発表</p> <p>6. 閉会 司会者 徳竹栄子</p>
報告事項へ の質疑	<p>○白沢林道の整備が必要、森林税で行えないか。 回答：予算の範囲で実施しているが、ご意見は伺いました。</p> <p>○こども海外留学支援補助金で、年 1,500 万円の予算は大きい。趣旨の違いがあるが、1 人の生徒より全員を短期でも海外体験させた方がよいのでは。 回答：ご意見は承りました。</p> <p>○会派とは何か。 回答：いろいろな要素により構成され、議会活動に役立てています。</p> <p>○創門会は 6 人と多数であるが、狙いは何か。 回答：志を一（いつ）にする者の集まりで、意見交換をしています。</p>

	○会派の考えを公表した方がよいと思うが。 回答：持ち帰り検討します。	
意見交換会 での 質問と回答	第1班 別紙	第2班 別紙

第 18 回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（東部上）

日 時	令和 7 年 1 月 24 日（金）午後 7 時 00 分から午後 8 時 50 分まで
場 所	和合会館 3 F
参加人数	住民参加者 34 人 議員 12 人 事務局 1 人
地元 協力団体	沓野区・沓野組・渋湯組・横湯組
議員 役割分担	<p>総括責任者 山本光俊</p> <p>司会進行 山本光俊</p> <p>記録者 志鷹慎吾</p> <p>出席議員 小田孝志・畔上恵子・志鷹慎吾・塚田一男・湯本るり子・徳竹栄子・高田佳久・渡辺正男・山本光俊・小林克彦・白鳥金次・湯本晴彦</p>
次第 (担当者)	<p>1. 開会 司会者 山本光俊</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 議長 湯本晴彦</p> <p>(2)共催者代表 沓野区長 湯本弥助</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会報告</p> <p>①予算決算審査委員会 白鳥金次</p> <p>②総務産業常任委員会 小田孝志</p> <p>③社会文教常任委員会 畔上恵子</p> <p>④広報常任委員会 渡辺正男</p> <p>⑤議会運営委員会 徳竹栄子</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 班別意見交換会</p> <p>第 1 班 司会 徳竹栄子 記録 高田佳久</p> <p>第 2 班 司会 湯本るり子 記録 渡辺正男</p> <p>第 3 班 司会 塚田一男 記録 小林克彦</p> <p>第 4 班 司会 志鷹慎吾 記録 小田孝志</p> <p>5. 班別意見発表</p> <p>6. 閉会 司会者 山本光俊</p>
報告事項へ の質疑	<p>○人口動態の状況は。</p> <p>→ 令和 5 年 転入者 540 人 転出者 472 人 社会増減は 68 人増、自然増減は 157 人減なので 89 人の人口減少。</p> <p>○人口を増やすという公約で町長の考えは。</p> <p>→ 16 ページを参照 実績 令和 6 年 4 月～12 月 4 世帯 14 人 空き家・空き地バンク登録・対応を HP に掲載し希望者との連絡調整を実施。田舎暮らし体験事業や SNS、パンフレットおよび動画の作成による PR 移住定住に係る補助金制度、観光局の立上げなど、結果までに</p>

	<p>時間が必要。</p> <p>○全国的に問題になっている水道水汚染について（当町の状況は）。</p> <p>→ 5～6年度にかけて水源の水質検査したところ有機フッ素化合物（PFAS）は検出されませんでした。</p>			
<p>意見交換会 での 質問と回答</p>	<p>第1班 別紙</p>	<p>第2班 別紙</p>	<p>第3班 別紙</p>	<p>第4班 別紙</p>

第18回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（南部）

日 時	令和7年1月25日（土）午後3時00分から午後5時20分まで			
場 所	ほなみふれあいセンター			
参加人数	住民参加者 34人 議員 11人 事務局 1人			
地元 協力団体	南部協議会・南部公民館			
議員 役割分担	総括責任者 白鳥金次 司会進行 山本光俊 記録者 湯本るり子 出席議員 小田孝志・畔上恵子・志鷹慎吾・塚田一男・湯本るり子・ 徳竹栄子・高田佳久・渡辺正男・山本光俊・小林克彦・白鳥金次			
次第 (担当者)	1. 開会 司会者 山本光俊 2. あいさつ (1)主催者 副議長 白鳥金次 (2)共催者代表 南部協議会長 児玉善郎 3. 報告事項 (1)議会常任委員会報告 ①予算決算審査委員会 湯本るり子 ②総務産業常任委員会 塚田一男 ③社会文教常任委員会 畔上恵子 ④広報常任委員会 渡辺正男 ⑤議会運営委員会 志鷹慎吾 (2)質 疑 4. 班別意見交換会 第1班 司会 畔上恵子 記録 志鷹慎吾 第2班 司会 小田孝志 記録 塚田一男 第3班 司会 渡辺正男 記録 湯本るり子 第4班 司会 山本光俊 記録 高田佳久 5. 班別意見発表 6. 閉会 南部公民館長 湯本市蔵			
報告事項へ の質疑	なし			
意見交換会 での 質問と回答	第1班 別紙	第2班 別紙	第3班 別紙	第4班 別紙

第18回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（東部下）

日 時	令和7年1月30日（木）午後7時00分から午後9時00分まで
場 所	文化センター 3F ホール、 2F 学習室
参加人数	住民参加者 39人 議員 12人 事務局 1人
地元 協力団体	上条区・湯田中区
議員 役割分担	<p>総括責任者 小田孝志</p> <p>司会進行 小田孝志</p> <p>記録者 小林 仁</p> <p>出席議員 小田孝志・畔上恵子・小林仁・志鷹慎吾・塚田一男・湯本るり子 ・徳竹栄子・高田佳久・渡辺正男・小林克彦・白鳥金次・湯本晴彦</p>
次第 (担当者)	<p>1. 開会 司会者 小田孝志</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 議長 湯本晴彦</p> <p>(2)共催者代表 上条区長 芦原喜久司</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会報告</p> <p>①予算決算審査委員会 白鳥金次</p> <p>②総務産業常任委員会 徳竹栄子</p> <p>③社会文教常任委員会 小林 仁</p> <p>④広報常任委員会 渡辺正男</p> <p>⑤議会運営委員会 志鷹慎吾</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 班別意見交換会</p> <p>第1班 司会 小林 仁 記録 湯本るり子</p> <p>第2班 司会 畔上恵子 記録 志鷹慎吾</p> <p>第3班 司会 高田佳久 記録 塚田一男</p> <p>第4班 司会 徳竹栄子 記録 渡辺正男</p> <p>5. 班別意見発表</p> <p>6. 閉会 司会者 小田孝志</p>
報告事項へ の質疑	<p>○国民健康保険税について</p> <p>保険税は資産割まで入ると、二重課税ではないかと町にも問い合わせたことがあるが。</p> <p>回答：保険税と保険料は自治体ごとに選択でき、当町では保険税と条例で定めている。現行は三方式を採用しているため、資産割は該当せず、二重課税に当たらない。</p> <p>○つなぎ人について（どんな活動をしているのか）。</p> <p>回答：田内川真介氏の協力により「大勝軒の復刻版カレーライス」を道の駅</p>

	<p>北信州やまのうちのリニューアルプロジェクトとして、令和5年7月15日から提供しています。</p> <p>新たな「つなぎびと」として、町出身でアスレチックトレーナーの関賢一氏を6月7日に認定しました。</p> <p>○楽ちんバスの実績は。</p> <p>回答：会員登録者数156人（令和6年11月末現在）。</p> <p>利用者数1,054人（7/1～11/30） 内訳は町内580人、町外474人、となっております（詳しくは議会ホームページ議会報告会資料をご覧ください）。</p>			
<p>意見交換会 での 質問と回答</p>	<p>第1班 別紙</p>	<p>第2班 別紙</p>	<p>第3班 別紙</p>	<p>第4班 別紙</p>

第18回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（西部）

日 時	令和7年2月1日（土）午後5時30分から午後7時30分まで
場 所	よませふれあいセンター
参加人数	住民参加者 28人 議員 10人 事務局 1人
地元 協力団体	西部協議会、西部公民館
議員 役割分担	<p>総括責任者 渡辺正男</p> <p>司会進行 渡辺正男</p> <p>記録者 畔上恵子</p> <p>出席議員 小田孝志・畔上恵子・小林仁・志鷹慎吾・塚田一男・湯本るり子 ・高田佳久・渡辺正男・白鳥金次・湯本晴彦</p>
次第 (担当者)	<p>1. 開会 司会者 渡辺正男</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 議長 湯本晴彦</p> <p>(2)共催者代表 西部協議会長 湯本 誠</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会報告</p> <p>①予算決算審査委員会 湯本るり子</p> <p>②総務産業常任委員会 小田孝志</p> <p>③社会文教常任委員会 高田佳久</p> <p>④広報常任委員会 小林 仁</p> <p>⑤議会運営委員会 志鷹慎吾</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 班別意見交換会</p> <p>第1班 司会 高田佳久 記録 湯本るり子</p> <p>第2班 司会 湯本晴彦 記録 白鳥金次</p> <p>第3班 司会 志鷹慎吾 記録 小林 仁</p> <p>第4班 司会 小田孝志 記録 畔上恵子</p> <p>5. 班別意見発表</p> <p>6. 閉会 司会者 渡辺正男</p>
報告事項へ の質疑	<p>○観光局の担っているものは何か。</p> <p>回答：調査研究や管理、観光情報発信や誘客プロモーション、ふるさと納税、受け入れ環境整備事業などです。</p> <p>○学校統合について、今の時点で予算はどの位かかるのか。</p> <p>回答：審議会の中では大まかな金額が出ているが、中身が決まっていないため、議会に金額提示はされていません。議会として慎重に対応していきます。</p>

	<p>○テニスコートの利用状況は。 回答：令和6年9月定例会で行った令和5年度決算審査において、「上林総合グラウンド利活用は整備計画を策定し、推進していくこと」と意見を付して、町側に申し入れてあります。</p> <p>○訪問介護報酬の引き下げ問題について。実際、高山村で訪問介護がなくなっている。益々高齢化がすすむ中でお世話になる訪問介護に携わる人達の賃金が下がっている。強く議会としても訴えて欲しい。 回答：総合的に認識し真摯に対応していく。</p>			
<p>意見交換会 での 質問と回答</p>	<p>第1班 別紙</p>	<p>第2班 別紙</p>	<p>第3班 別紙</p>	<p>第4班 別紙</p>

議会報告会（北部会場）意見交換会まとめ

NO. 1

日 時	1月19日(日) 19:20~20:00	場 所	すがかわふれあいセンター
グループ名：第1班	司会：高田佳久	記録：畔上恵子	
<p>①公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の楽ちんバスの時刻表だと、高校生の利用が不便なため改善を。 ・バスの台数を増やせないか。 ・スクールバスの活用はできないか（教育委員会との話し合いでは、補助金の関係があり、難しいとのこと） ・観光客を乗車できるようにして欲しい。 ・ドア to ドアの対応は。 <p>⇒上記5点を所管課へ要望として伝えるが、アンケート等でも要望をして欲しい。</p> <p>②情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会での情報発信にインスタグラムの活用を（若い人はフェイスブックを見ていないため） <p>⇒広報常任委員会へ伝える。</p> <p>③不登校対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の減少をはかるため、増加している原因・要因を議会でも研究して欲しい。 ・不登校対応している民間施設への支援体制を。 <p>⇒要望として議会で協議する。</p> <p>④子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の子育て支援（補助金等）をより充実して欲しい。 ・情報発信をもっと行い、人口増につなげてもらいたい。 <p>⇒上記2点を要望として議会で協議する。</p> <p>⑤学習環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の動きでは、学力およびコミュニケーション能力の低下をまねく恐れがあるため、こどものタブレット使用を控える傾向となっているが、当町では。 <p>⇒国が進めている事業であるが、こどもたちの使用頻度を考える余地はあると思う。</p> <p>⑥国道403号について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道除雪の推進をお願いしたい。 <p>⇒所管課へ要望として伝える。</p> <p>⑦パブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで意見ができない人の対応を考えてもらいたい（アナログ対応）。 <p>⇒要望として議会で協議する。</p>			

日 時	1月19日(日) 19:20~20:00	場 所	すがかわふれあいセンター
グループ名：第2班	司会：山本光俊	記録：小田孝志	
<p>テーマ：人口減少時代の町づくりをどう考えるか</p> <p>(1) 要望</p> <p>①公共交通であった長電バスがなくなってしまい残念であるが、代わって楽ちんバスや、チョイソコの運行により高齢者に対しての配慮を感じる。今後は、ドアtoドアの検討や高校生の通学に配慮した検討をお願いしたい。通学については、親が送り迎えしている。</p> <p>②住宅や子育てに対する補助制度だけでなく、地元働く場の提供も考えていただきたい。</p> <p>(2) 意見（質問）</p> <p>①北信ローカルで「ケビンの一言」という記事の中で、山ノ内町は人口が増えていると書いてあったが本当か。 →外国人の流入は増えている。コロナ前の人たちが帰国しているのでは。日本人は移住者がいないわけではないが、自然減を合わせるとトータルでは減っている。</p> <p>②近くに働く場所がない。子供たちは、働ける場所に移り住んでしまう。</p> <p>③以前は、長男はいずれは帰ってくるものだと考えていたが、帰ってこない。あてにもしなくなった。</p> <p>④若者を呼び込んでいる市町村は子育ての支援が厚いと思うが、山ノ内ではどうなんだ。→近隣の市町村に比べ、補助制度は手厚い。地元働く場所がないというのが問題かもしれない。</p> <p>⑤地元で生まれ定年を経て戻った。自宅は横浜でそこに家族がいる。一人暮らしで12年になる。</p> <p>⑥昔は親が年取ったから子供が帰ってきたが、今は親を連れて行ってしまう。</p> <p>⑦空き家バンクの活用は。→別荘代わりに使っている。関係人口という視点ではよいことだと思う。</p> <p>⑧飯綱町では若者が移住してきて、リノベーションして店舗等に活用しているが、当町では。 →当町でも空き店舗活用補助金があり、利用している。</p>			

日 時	1月24日(金) 19:50~20:30	場 所	和合会館
グループ名：第1班	司会：徳竹栄子	記録：高田佳久	
<p>①定住対策について</p> <ul style="list-style-type: none">・とにかく働く場所の確保を。・定住などの補助があっても、働く場所の近くに住みたくなるので町内に働く場所を。・町外勤務の場合に交通費などの補助を考えてもらいたい。 <p>⇒上記2点を要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>②子育て環境について</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもが遊べる場所・環境を整備して欲しい。 <p>⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>③教育環境について</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校統合は早期に実現し、小中一貫校としてもらいたい。 <p>⇒小学校統合は審議会にて検討中、3月には総合教育会議にて統合の方針が決まる。</p> <ul style="list-style-type: none">・外国人と接する経験など、町内での国際交流をすすめてもらいたい。 <p>⇒小中学校すべてにALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）配置し全学年で英語教育を実施している。また、ESD教育の一環として、外国人へのアンケートなどを実施した小学校もある。</p> <p>⇒上記2点を要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>④公園整備について</p> <ul style="list-style-type: none">・森林公園の設置を（アクティビティ施設の設置を含む）。 <p>⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>⑤補助金について</p> <ul style="list-style-type: none">・当町の補助がたくさんあるのは理解しているが、もっと突出した補助としてPRしてはどうか。 <p>⇒要望として議会で協議したい。</p>			

日 時	1月24日(金)19:50 ~ 20:30	場 所	和合会館
グループ名：第2班	司会：湯本るり子	記録：渡辺正男	
<p>①子どもはいるが、長野市に出ている。仕事の誘致が必要では。</p> <p>②おてんま、地域の役が多い。</p> <p>③2人の子どもがいるが、1人は神奈川県、1人は中野市に通っている。</p> <p>④2人の息子、町にいない。したい仕事が町になかった。望む教育が町にない。教育の選択肢が必要。共働きが当たり前で、働く場が少ない。在宅でできる仕事も。独り暮らしなので・・・。</p> <p>⑤旅館の跡継ぎ、子どもにはさせたくない。娘は御代田町在住在勤。</p> <p>⑥1人（息子）は家にいるが芸能関係の仕事している。娘は長野市在住在勤。移住優遇策は不平等を生まぬように、もともとの住民が不利にならないように。固定資産税の減免を。</p> <p>⑦子どもは、都会は住むところではないと帰ってきているが、同世代の仲間が少なく寂しいと言っている。買い物の不便さがある。外国人客が来なくなったらと不安もある。小学校は早期に統合し、空き学校を活用して企業・学校の誘致で活性化を。</p> <p>⑧旅館はやめた。町が好きで戻ってきた息子は、町内に仕事がなく町外に。買い物問題は広域的視点で考える必要がある。小学校は魅力ある学校に。</p> <p>⑨かつて文教大学とコラボしたように、外部の「知恵」を借りることも必要。</p> <p>⑩学生は飽きやすい。いつまでも学生ではない。継続が大事。</p> <p>⑪町の温泉（荒井河原など）の研究、町の財産の研究などテーマを与えて、結論が出るまでやってもらう。SNS等にたくさん上げてもらう、インフルエンサーの活用などで情報発信を強化する。</p> <p>⑫外国人の食事場所を増やす必要がある。</p> <p>⑬湯田中駅の2か所のまちづくり観光局、連携がうまくいっていないのでは。</p> <p>⑭町の魅力発信（観光だけでなく、農業、税、補助制度等）を。</p> <p>⑮移住者には、お金だけではないケア支援を。</p> <p>⑯子どもや親には、官だけでなく、官民一体で応援できるまちづくりを。</p>			

日 時	1月24日(金) 19:50~20:30	場 所	和合会館
グループ名：第3班	司会：塚田一男	記録：小林克彦	
<p><主な意見等>・・・順不同</p> <p>○ポイントは2つ ⇒ ①人口増の施策。 ②減少は全国的問題。特に地域は減少率が顕著。行政サービス面、産業振興面を踏まえ、町として生き方を考えなくてはならない。山ノ内町に移住する特典のような施策。</p> <p>○婚活および広域の取り組み検討も必要。この町にしかない施策と支援。 ○帰ってきてても、働く場が限られる。仕事との選択肢が少ない。 ○多様性の概念、働く環境づくり。 ○補助金だけでない、魅力のあるもの。幸せと価値観の違いへの気づき。 ○就農への支援プログラムの検討。 ○何で、町から出ていくのか。積雪などの理由だが、逆に町民に対して「雪かき」手当の支給はどうか。 ○白馬村は観光、この町は観光と農業が基幹産業。振興策に対する補助検討を。 ○わかりやすい情報発信に努める。 ○地域住民のDX推進を。例として、配布物も何年後には高齢化が進展し、配布困難なことも想定される。組長、伍長等経由ではなく、郵送等の検討はできないか。DX対応が困難な人は郵送、それ以外はSNS（ソーシャルネットワークサービス）、フェイスブック対応など。 ○配布物が多過ぎる。広報誌も年4回ではどうか。十分と思う。</p>			

日 時	1月24日(金)19:50~20:30	場 所	和合会館
グループ名：第4班	司会：志鷹慎吾	記録：小田孝志	
【意見・提案】			
○全体的に儲かるシステムを考えることが大切。儲かるところに人は集まるし、出て行った人も帰ってくる。			
○湯田中行き電車には大勢の外国人が乗っていたが、話を聞くとスノーモンキーを観て帰ってしまう。ワンデイステイから2泊、3泊させる工夫、いかにして観光客を引き留めるかを町としても考えてほしい。			
○野猿公苑入り口が凍っていて滑るせいか、救急車を見かける。対策を考えてほしい。			
○飲食店もクレジットカード決済できるように指導してほしい。不便さがあると選ばれない。			
○交流人口（関係人口）を増やしていくのも一つの方法だと思う。町として何を伸ばしていきたいのか。広く浅くではなく、とんがった政策を立てそこに資源を集中させては。			
○人口を増やしていくには仕事がなければ。それも大切だが、住環境も大切。魅力ある住環境づくりの必要性を感じる。			
○身の丈に合った町づくりという考え方も必要では。			

日 時	1月25日(土) 15:40 ~ 16:20	場 所	ほなみふれあいセンター
グループ名：第1班	司会：畔上恵子	記録：志鷹慎吾	
<p>①人口減少、まちづくりは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者がこの町で仕事の選択肢が少ない。特に大学卒業者の能力を発揮できる場所。 ・働き場が限られている。求めている仕事がない。 ・補助金はいいが、仕事がない。バランスが悪い。 ・若者にとって、スポーツも含む魅力的な施設や遊び場が少ない。 ・若者の年齢層がとても薄いので、帰ってきててもさみしい。 ・外国人が増えるのも少し違う。少し注意すべき。 ・空き家など外国人が購入しているが、どうだろうか。 <p>○提案・対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は増やすことはできなくても、維持をすることを考える。 ・人口が減っているが、少ないなりに工夫すべき。 ・観光はグリーンシーズンのことにしっかり取り組み、通年楽しめるように考える。 ・観光は白馬や野沢などの例をしっかり学んで、山ノ内らしさを発見・発信する。 ・観光は外国人だけではなく日本人にとっても魅力的にする。 ・フランス（サンジェルヴェ・レ・バン市）と友好都市提携を結んだので、国際的な感覚を身につける。 ・スノーモンキーだけではないことをアピールする。 ・外国人労働力をもっと考え、雇用していく。 ・地域おこし協力隊をもっと上手に活用する。 ・移住者には地域の文化や伝統、習わしなどもしっかり伝えてなじんでもらう。 ・広域でものをとらえれば、ベッドタウンでもいいのでは。 ・儲かる農業の開発や農業就労にもっと手厚い支援を。 ・魅力の発信力をもっと強化をする。 ・山ノ内町は子どもの補助金の手厚さをもっと発信する。 ・今の住民住みやすく、充実した生活にすることで、魅力的にして、発信する。 ・住みやすい町にすることで、子どもが戻りやすくなる。 ・山ノ内町から通えるように公共交通を充実させる。 ・メタバースを使って婚活の機会をもっと増やす。 <p>②地域の役員（消防団員も含む）の担い手問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員や団員を確保するのが難しい。 ・若者が少ないうえ、高齢化で担い手不足である。 ・定年して移住してくる方がいるが、地域になじめなくて孤独になっている。 ・地域の若者が少ないと団員になれば長期にわたる。入りたくなくない。 ・高齢化、一人暮らしなどで回覧板などを回すことができない。配りものも同じ。 			

○提案・対策

- ・広域での交流の場を増やして、結婚率を上げる。
- ・防災士の資格を住民が持つことで、手助けができる。
- ・少ない人数でできるように考える。

③小学校統合問題

- ・義務教育学校は魅力的である。ぜひ進めてほしい。
- ・お金はかかるが子どもたちのことだから頑張れる。

議会報告会（南部会場）意見交換会まとめ

NO. 1

日 時	1月25日(土) 15:40 ~ 16:20	場 所	ほなみふれあいセンター
グループ名：第2班	司会：小田孝志	記録：塚田一男	
<p>〈主な意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家対策、佐野区で調査の結果、約50棟、この内、倒壊の危険があるのは約8棟で中には、国土調査でも登記できないものがある。土地と建物所有が別人例もある。地域の取り組み検討も必要。空き家は動物の住み家となっている。 ○空き地、空き家バンク登録と活用を図る。また、情報提供と相談体制の充実（困らないうちに）。 ○土地や建物の権利放棄もある。 ○高齢者世帯の増加は、逝去後の問題も含んでいる。 ○就農支援体制の確立 ⇒ 技術習得面 ○移住しても、区費、組費等の義務を果たさない。不動産業者の対応が悪く、事前説明で「不要」としている。業者指導が必要。 ○移住に頼ることなく、転出者を少なくする施策をターゲットにすべき。 ○町内に居住する人が、住みやすいという町づくり。住んでいる人が、幸せと思える町づくり。 ○佐野にも、セカンドハウスが3棟ある。 ○人口減少に伴う、助け合いのシステムづくりを。 ○区役員、消防団員確保が困難になる。 			

議会報告会（南部会場）意見交換会まとめ

NO.1

日 時	1月25日(土) 15:40 ~ 16:20	場 所	ほなみふれあいセンター
グループ名：第3班	司会：渡辺正男	記録：湯本るり子	
<p>意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の役員さんから 新入団員が少ない、団として勧誘が難しい。 ・情報が少なくどこの家に若者がいるかもわからない。 ・消防団の式典も少なくなったが、団員集めが大変。 ・定年退職してから消防団に入った。 ・区の役員も大変で、一人でいくつもの役を兼ねてもらっている。 ・若者は外へ出ている（町外・県外）。地元に戻っても働く場所がない。 ・移住を考えている人からは、医療機関は大丈夫か・保育園は近いか・学校はどうか？ときかれる。 <p>要望として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は全国的な問題だから、「山ノ内町の特色」といえる何かがほしい。 ・南信には人口が増えているところもあるようだ。出向いてきいてみるのはどうか。 ・働く場所がほしい。 ・婚活事業に力をいれてほしい。 ・昔からの事業が多すぎる、負担を減らす事も考えてほしい。 ・未満児の保育料を安くしてほしい。 			

議会報告会（南部会場）意見交換会まとめ

NO.1

日 時	1月25日(土) 15:40~16:20	場 所	ほなみふれあいセンター
グループ名：第4班	司会：山本光俊	記録：高田佳久	

①定住対策について

- ・移住の実績はどうか。人口は増えているのか。

⇒報告書の16ページに記載してある。R5年実績では社会増、自然減となり結果、人口は減少(△89)となっている。

- ・空き家の増加が心配。空き家になる前に、結婚して家を継いでもらえるよう婚活支援に力を入れて欲しい。

- ・移住者の声を情報発信することで移住しやすくなるのでは。

- ・佐野地区で移住は増えているが、住み続けられるような政策を議会で考えて欲しい。

⇒上記2点を要望として議会で協議し、所管課へ伝える。

②産業振興について

- ・マッチボックスなど就業アプリの活用および実績は、議会で把握しているか。

⇒始めて間もないが、行政から議会に報告がないため承知していない。今後、予算審査などで確認してみる。

- ・外国人労働者が農業で多くなっているが、他の業種でも増えるようにして欲しい。

⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。

- ・観光局の運営状況はどうか。また、議会が関与できないとの話もあるが、議会としてしっかりと意見などを伝えて欲しい。

⇒1年が経過するタイミングで精査をしていきたい。議会から(一財)まちづくり観光局の評議委員として2人(正副総務産業常任委員長)を選任しているので、要望や意見を伝えていきたい。

③情報発信について

- ・出産子育て祝金などのPRを積極的に行い、人口増につなげて欲しい(テレビやSNSでの発信を)。

⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。

④地区の役割について

- ・町からの依頼として地区等で役職を担っているが、人口減少時代では減らしていくことを考えてもらいたい。

⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。

⑤消防団について

- ・人口が減少する中、現状に合わせて定数などの変更を。

⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。

日 時	1月30日(木) 19:50 ~ 21:00	場 所	文化センター
グループ名：第1班	司会：小林 仁	記録：湯本るり子	
<ul style="list-style-type: none">・若者は町内から出て生活は中野市でという人も多く、消防の勧誘が難しい。・山ノ内町は子どもを育てやすいよなど、特化することがあればいいと思う。・野沢温泉のように、特別な大きなイベントがあればいい。・現在町内では働く場所がない、20年先は世帯がかなり減ってしまう。・仕事を求めた時、この町では観光と農業というが 農業をやる人が少ない。・6次産業が無い、りんごも生食だけでなく6次産業化も考えてほしい。・農業は獣害もあり、ジビエは考えているか。・駅の近くに食堂が少ない、喫茶店が少ない。・従来の店が立ち行かなくなってしまう。・移住者が地元の組(自治体)に入らないので困っている。・広報について、YouTube で生配信などお金かけずにできると思うので色々な検討してほしい。 <p>教育問題</p> <ul style="list-style-type: none">・ソフト面でわかり易く ALT を増やして英語力に特化した教育はどうか。・義務教育学校というが、9年は長すぎる。・小1から中3まで一緒に学べるのは良いと思う。・上林グラウンドでなく、空き校舎になったグラウンドを使ったらどうか。			

日 時	1月30日(木) 19:50 ~ 20:30	場 所	文化センター
グループ名：第2班	司会：畔上恵子	記録：志鷹慎吾	
<p>○人口減少・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住してきた方々にアンケートをして検証する。その結果がアピールになる。 ・少ないが就農した若者がいる。これも検証することでアピールにつながる。 ・出生を増やすよりも、移住を増やすことを考える。 ・ちょうどいい広さのアパートがない。子どもが大きくなれば、それなりに大きい場所へ移りたいがない。リフォームは高いので、ファミリー向けアパートのある所へ移住する。町に残りたいが、出るしかない。 ・お金があれば住みたいが、20～30代の収入では難しい。 ・町はPRが下手。 ・若者向けの戸建て物件がない。 ・働く場所がない。 ・買い物するところが少ない。 ・燃料費など光熱費が周りより高い。 ・移住したい県の上位に入るが、実際は移住しない。 ・昔の上林料金所で自然環境を守る意味で規制をして、温泉街に宿泊してもらおう。 ・町中に活気がない。 ・若者が住みやすい町にする。 ・他の自治体とパイの取り合いになっているのでは。 ・広報は住民が見るが、外部の方は見ない。インスタグラムやフェイスブックをもっと活用する。 ・全員ではないが役場の人はもっと能動的に動いてほしい。 <p>○提案・対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住してきた方の内訳や分析をして、良いところをアピールする。 ・就農した若者にも話を聴き、良いところをアピールする。 ・空き家を活用して若者が住みたい家にしてPRする。 ・充実している補助金をもっと上手にアピールする。 ・子育てや福祉など補助金があるがもっとアピールしてほしい。 ・物件も若者向け、ファミリー向けなど区分けして掲載する。 ・温泉が魅力、温泉街をうまくPRする。 ・畑付き物件をPRする。 ・今の住民が快適になるようにしてからPRする。 ・若者はインスタグラム主流なので、これからはインスタグラムとフェイスブックをうまく使ってPRする。 ・広域で考えて、道路整備をして通勤しやすくする。 ・住民一人ひとりが発信していく。 			

日 時	1月30日(木) 19:50 ~ 20:30	場 所	文化センター学習室
グループ名：第3班	司会：高田佳久	記録：塚田一男	
<p>①子育て環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料は無償でありがたいが、高校生はタブレットを自費で購入（14万円程）となるので、補助の検討をお願いしたい。 <p>⇒高校の場合は、基本的に県の事業となるが、議会で協議し県および町へつなげていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野市の子育て支援拠点施設（HUB L I C）のように、小学生などが室内で遊べる施設がないので検討して欲しい。 <p>⇒今後、小学校統合後の空き校舎の活用を検討することになるので、要望は町行政に伝えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の通学補助（補助率20%）は大変ありがたいが、できればもっと補助率を上げてもらいたい。 ・長野市では「みらいハッ！ケン」プロジェクトを実施し、いろんな体験（スポーツやアート、料理、アクティビティなど）に使えるポイント30,000円分を支給しているが当町ではどうか。 ・総合型地域スポーツクラブではスポーツ教室の値上げを実施したが、見直しをお願いしたい。 <p>⇒上記3点を要望・意見として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>②まちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、人口増加は難しいと思われるが、町単独ではやっていけないのでは。これからは、色々な事・物のスモール化が必要ではないかと思うので、検討をお願いしたい。 <p>⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>③産業振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊税を導入して町に還元（外湯解放の費用や子育て支援などに）してはどうか。 <p>⇒基本的に宿泊税は法定外目的税となるので、観光振興に充当となる。ただし、既存の観光施策の財源を宿泊税に入れ替えた分は、余剰分として発生するので理論上は可能であると思うが、意見として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人口増を目指すには、企業誘致が必要と思う。大きな企業でなくてもいいので、半農半X（Xは観光部門で）を受け入れる施設の整備など、不動産業者も入れて検討してはどうか。 <p>⇒町行政もしくは、まちづくり観光局で事業検討となるかと。意見として議会で協議し、所管課へ伝える。</p>			

議会報告会（東部下会場）意見交換会まとめ NO.1

日 時	1月30日(木) 19:50 ~ 20:30	場 所	文化センター
グループ名：第4班	司会：徳竹栄子	記録：渡辺正男	
<p>①外湯開放やってみた。住民には自宅の風呂と同じ感覚で、運営負担もしている。町の援助があつての外湯開放を。</p> <p>②まちづくり観光局から、外湯開放の手形（1,500円～1,600円）販売で、料金の一部を地区に返還するという方式が提案されている。現在、協力が可能かどうかのアンケートをとっている。過去の開放では、飲酒、お湯の温度を下げられるなど、問題があつた。鍵を売る人もいる。聞いた話では、年間3万円で販売している地区もあるとのこと。</p> <p>③上条でも、鍵の不正使用があり、パトロール、防犯カメラ設置などしている。</p> <p>④鍵のメンテナンスが大変。過去にモラルの問題やトラブルがあつた。</p> <p>⑤空き家の問題だが、予備軍の段階で調査・把握が必要では。連帯保証人を付けるなど（共益会）、どうしようもなくなる前に手を打つことが必要。</p> <p>⑥たしかに、突然空き家になるケースもある。</p> <p>⑦若い人が出ていった。自宅の面倒見る気がない人もいる。移住者には自治会に入らない人の問題もある。ごみ出しの問題とか。</p> <p>⑧移住者、独居など住民を孤立させない手立てが必要。</p> <p>⑨湯田中温泉公園は、湯田中・安代・渋の駐車場に。</p> <p>⑩草津温泉のように電線は地下埋設に。</p>			

議会報告会（西部会場）意見交換会まとめ

NO.1

日 時	2月1日(土) 18:30 ~ 19:10	場 所	よませふれあいセンター
グループ名：第1班	司会：高田佳久	記録：湯本るり子	
<p>①地区の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前坂区の世帯数43軒、高齢化もあり地区の役（町からも含む）を場合によっては、ひとりで3～4役を受けている状況なので、町の役を含め減らす方向で検討してもらいたい。 <p>⇒南部会場でも同様の意見が出ていた。今後のまちづくりとして、議会での検討・協議の上、行政に伝えていきたい。</p> <p>②産業振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口ビジョンでは2065年に3,000人台となる試算が出ているが、町内雇用として観光産業での働く場の確保を推進してもらいたい。また、農業では半農半Xといった考えをベースに対応を検討して欲しい。 ・まちづくり観光局の目的が分からない。どういった方向を目指しているのかを含め、議会でのチェックをしっかりとやってもらいたい。 ・農業は販売価格が安いので赤字となりやすい。法人化を含め農業の構造を考えてもらいたい。 <p>⇒意見として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>③補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援など各種の補助金を出しているが、より効果が上がるように選択と集中を議会で検討してもらいたい。 ・除雪機購入補助は所得制限があるため、購入できない場合がある。この町では雪は当たり前なので、雪があっても住んで良かったと思えるように所得制限の見直しを検討してもらいたい。 ・二重窓の補助などエコ関係での町独自を検討してもらいたい。 <p>⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>④災害対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県志賀町を視察したとのことだが、倒壊家屋の除去などが進まず、復興が遅れている状況を議会でも調査・研究してもらいたい。 <p>⇒意見として議会で協議し、所管課へ伝える。</p> <p>⑤除雪について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドが増加し、外国人の方が野猿公苑を訪れているが、旧国道292号の黒川橋から歩道の除雪が、あまりよくできておらず危ないと感じるため、除雪対応をお願いしたい。 <p>⇒要望として議会で協議し、所管課へ伝える。</p>			

議会報告会（西部会場）意見交換会まとめ

NO. 1

日 時	2月1日(土) 17:20 ~ 19:10	場 所	よませふれあいセンター
グループ名：第2班	司会：湯本晴彦		記録：白鳥金次
<p>〈主な意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不登校、現在何名か。 ○ホテルの従業員が、町内に居住しようとして物件を当たったが、該当物件がなく、中野市へ転出した。これに類似の件数がもう1件あった。物件が少なすぎる。移住に特化した専門部署がない。係で兼務が実態。専門部署設置はできないか。 ○遊ぶ場所が少ない。 ○Iターン、農業施策（遊休・荒廃農地）、農業法人の話も出ている。ブドウは利益が多いが手間がかかる。手間の必要な時期は競合し、人員確保面でも苦勞している。有害鳥獣に係る一般質問は多いが、農業施策に関する質問が少ない。農業施策をどのように考えておられるのか。 ○2025年人口はどうなっているのか。報告会資料29ページ、このページは将来を見込んだ資料とすべきと思うがどうか。 ○小学校統合問題。こども中心の施策を。 ○西小を改修した統合はどうか。教育債や過疎債を活用とのことだが、全額ではない。つまり、これからの世代の負担となる。山ノ内中に建設するよりは負担が少なくなる。 ○町の財源は限られている。予算の有効な使い道をお願いしたい。また、町財政を議会として、しっかり監視、併せて用途のチェックをお願いしたい。 			

議会報告会（西部会場）意見交換会まとめ NO.1

日 時	2月1日(土) 17:20 ~ 19:10	場 所	よませふれあいセンター
グループ名：第3班	司会：志鷹慎吾	記録：小林 仁	
<p>①観光の目玉になるイベントを作っていく必要はないか。</p> <p>②統合小学校は簡易な施設で充分。</p> <p>③小学校は避難施設にもなるため堅牢な物が必要。</p> <p>④消防団員の人手不足が深刻。</p> <p>⑤志賀高原はやり方を変えないと今のままではだめ。</p> <p>⑥空き家の対策が必要（今シーズンは積雪も多く倒壊の恐れもある）。</p>			

日 時	2月1日(土) 18:20 ~ 19:10	場 所	よませふれあいセンター
グループ名：第4班	司会：小田孝志	記録：畔上恵子	

①人口減少による問題点・困った点について

- ・子どもはいるが仕事の関係で、町外へ出たまま戻って来ない。戻る意思もない。
- ・高齢者しか残っていないので、区の役員など地域の組織づくりが難しい。
- ・子育て、農家への支援（補助金）など充実していると思うが、町内外にうまくPRができていないのでは。PR方法を考えては。
- ・子育てに適した環境や雰囲気ではない。
- ・湯田中温泉周辺の商店街を、活性化できたらいいと思う。

提案・対策

- ・町で空き家を買取り、リフォームして移住者を呼び込むことも大事。
- ・人口減少した状況を想定した、まちづくりが必要ではないか。
- ・移住者の増加は、人口の奪い合いになる。
- ・実際に移住して来た人から、SNSを使って発信してもらっては。
- ・役場側からの広報等の紙面だけでは知ってもらえないため、積極的に発信やPRをしたらいい。

②地域交通について

- ・今、チョイソコやまのうちの運用をされているが、関わっている人が高齢化した場合のことも、考えていかなければいけないし、公共の交通が残る体制も今後大事。
- ・小学校統合がされたあと、各地域の子どもたちがどこのバス停から乗り降りするのか心配。いろいろな面で考慮すべき。

③農業について

- ・昨年末の雪害でぶどう棚などの被害が出たが、もう少し補助金を考えて欲しい。
- ・農家の人員確保も大変なため、町からもSNSなどで発信して欲しい。
- ・ぶどう・りんごなど美味しいものが作れているので、もっとPRしていくべき。

④その他

- ・総合型地域スポーツクラブは、子どもたちだけでなく高齢者も気軽に参加できるよう工夫が必要であり、きちんとした組織をもっと真剣に考え対応して欲しい。
- ・上林のサマージャンプ台は、老朽化もすすんで危険なため撤収した方が、いいのではないか。
- ・白馬村や野沢温泉村などは、外国人の経営者が増え労働者もかなりいる。山ノ内町も外国人労働者が増加傾向ではあるが、住民にとってはいろいろ心配なところもある。
- ・農家が雇用している、労働者の約8割はタイ人であり、いてもらわなければ成り立たない。

提案・対策

- ・ここに住んでいる我われが、いきいきと生活できていることが大事。
- ・町の魅力はたくさんあるので、もっとPRが必要。

第18回議会報告会 参加者アンケート結果(集計表)

(人)

		北部	南部	東部上	東部下	西部	計		第17回	比較
1. 性別	男	12	29	34	31	13	119	95.2%	115	4
	女				5	1	6	4.8%	10	△ 4
	無回答						0		0	—
	計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—
2. 年代	10代						0		0	—
	20代	1					1	0.8%	0	1
	30代	1	3	1	8		13	10.4%	8	5
	40代		3	1	2		6	4.8%	7	△ 1
	50代		1	3	2	1	7	5.6%	16	△ 9
	60代	5	9	15	19	7	55	44.0%	65	△ 10
	70代～	5	13	14	5	6	43	34.4%	29	14
	無回答						0		0	—
計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—	
3. 職業	農林水産業		12	1	5	4	22	17.6%	22	—
	自営業・会社経営 自由業	1	1	12	12	3	29	23.2%	24	5
	会社員・公務員 店員等	3	8	6	11	3	31	24.8%	37	△ 6
	学生						0		1	△ 1
	パート・アルバイト	3	4	3	4	1	15	12.0%	11	4
	無職	5	4	10	4	2	25	20.0%	27	△ 2
	その他			2		1	3	2.4%	2	1
	無回答						0		1	△ 1
計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—	
4. お住まい	東部			33	33	2	68	54.4%	58	10
	南部		29				29	23.2%	29	—
	西部					12	12	9.6%	16	△ 4
	北部	12		1	1		14	11.2%	22	△ 8
	無回答				1		1	0.8%	0	1
	町外				1		1	0.8%	0	1
計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—	
5. 議員定数	多い	1	7	2	10	3	23	18.4%	25	△ 2
	適当	8	17	27	25	8	85	68.0%	86	△ 1
	少ない	2	3	4		2	11	8.8%	7	4
	望ましい定数(20人)	1					1	0.8%	3	△ 2
	望ましい定数(18人)		1				1	0.8%	3	△ 2
	望ましい定数(16人)		1	1			2	1.6%	0	2
	望ましい定数(13人)				1		1	0.8%	0	1
	望ましい定数(12人)		2	1	2		5	4.0%	9	△ 4
	望ましい定数(11人)						0		1	△ 1
	望ましい定数(10人)		2	1	3	2	8	6.4%	6	2
	望ましい定数(9人)						0		0	—
	望ましい定数(8人)						0		1	△ 1
	望ましい定数(7人)						0		1	△ 1
	望ましい定数(5人)		1				1	0.8%	0	1
	望ましい定数(10～12人)						0		1	△ 1
	無回答	1	2	1	1	1	6	4.8%	4	2
計	12	29	34	36	14	125	100.0%	122	3	
6. 議会だより	読んでいる	5	7	14	18	8	52	41.6%	59	△ 7
	ときどき読んでいる(新)	5	15	15	15	4	54	43.2%	47	7
	ほとんど読まない(新)	1	7	3	2		13	10.4%	14	△ 1
	読んでいない	1		1	1	1	4	3.2%	5	△ 1
	無回答			1		1	2	1.6%	0	2
計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—	

第18回議会報告会 参加者アンケート結果(集計表)

(人)

		北部	南部	東部上	東部下	西部	計		第17回	比較
7. ホームページ	見ている	1	2	1	4	1	9	7.2%	15	△ 6
	ときどき見ている(新)	3	6	9	8	3	29	23.2%	22	7
	ほとんど見ていない(新)	4	14	14	11	4	47	37.6%	36	11
	見ていない	4	7	9	13	6	39	31.2%	52	△ 13
	無回答			1			1	0.8%	0	1
	計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—
8. フェイスブック	見ている	1	1	1	1		4	3.2%	1	3
	ときどき見ている(新)	2	3	3	4	2	14	11.2%	8	6
	ほとんど見ていない(新)	1	7	11	7	3	29	23.2%	39	△ 10
	見ていない	8	18	18	24	9	77	61.6%	77	—
	無回答			1			1	0.8%	0	1
	計	12	29	34	36	14	125	100.0%	125	—

(アンケート提出率)	92.3%	85.3%	100.0%	92.3%	50.0%	84.5%		69.4%	15.70
参加者数	13	34	34	39	28	148		180	△ 32

第17回参加者数	21	48	32	43	36	180
----------	----	----	----	----	----	-----

第18回議会報告会 参加者アンケートの結果（意見・要望）

①北部会場

- 林道整備をしっかりと進めてもらいたい。（特に草刈）
- 人口減少歯止めをして、移住者・就農者等考えられるか。
- それなりの環境作りに力を入れて欲しい。
- 議員定数の適当かを判断するために、各議員の質問内容、議案の可決頻度等情報が欲しい。
- 子育て支援及び業者が移住を検討できる材料がない。観光者支援も大切だが、少子化対策しないといけないのではないか。
- フェイスブックで若者が少ないとの報告だが、登録をすすめるのではなく、インスタグラム等若者がやっているものでやるべきではないか。

②南部会場

- 宿泊税の導入（進行）状況。
- 各々議員が町の未来のため、頑張っておられると思いました。人口問題は、どの町村でも共通課題です。もっと広域での課題対策として、話し合えればと思います。
- 独身の人間に女の人（県外の人）が来てもらえるように町づくりをしてほしい。（農業だと人の接点が少ない。県外の人でも来たいという人は少しいるようなので）山ノ内独自、総合的なPRして欲しい。
- 今後も町へ多く意見をだしてもらえるとありがたい。人口が減少する中での取り組みがなかったのが残念だった。3人目の出産に給付金をつけてくれることや、結婚適齢期の方への支援をしてくれているのか知りたかった。

③東部上会場

- 引き続きよろしくお願いします。
- 今回のテーマは大変難しい。でも重要な問題です。山ノ内町の特徴を全面に出して、実行する。
- 官民共に努力しないといけないと思いますので、頑張ってください。
- 今年、山ノ内町は良くなります。
- 猿が増えてきているので対応をお願いしたい。安代坂に6～7頭いて、小学生が困っていた。
- 町外に対して、しっかり対応されてるなと感じました。ありがとうございました。
- 現在、湯田中にて“うるわしの志賀高原”が流れているが、歌詞のないメロディだけにした方がいいのではないか。
- 御代田町の例で、観光と農業に徹する。

- 町配布物の郵送はじめ自治会活動（各種委員）の簡素化をして欲しい。（高齢化で対応が難しくなる）町の特長（観光・農業）、特徴を整理して、その分野が伸びることができる。施策（例えば農業女子への支援など）を検討されたい。
- 10年前に子供会会長が岩本徹氏で、中学校敷地に小中一貫校の設置が決定されたにもかかわらず、未だに小中学校が出来てない状況で、議会議員は当時の町長、教育長に早期実現を提言すべきではなかったのではないかと。もう、いい加減、小中施策に向けて邁進して欲しいです。何年かかれば実現できるのか。その更地に企業や大学、病院等を誘致して、働く場所の確保や人口増を図ったらどうか。
- 町から出ていく人の理由を考え、できる改善策を一つ一つ実行する。例えば①雪克服支援金を補助、②町広報は年4回郵送し、区組への負担を軽減、③働ける場所の拡充、産業振興の人口減になった時、町の姿、行政サービスは？自治組織内での住民負担を少なくし、人口5千人でも豊かな社会生活が営まれる社会の実現。
- 以前、交際のあった観光業界の新聞記者に「〇〇さん、この町には、あと何が必要だろうか？」と尋ねたところ、「これ以上、何が必要なの？こんな全てそろっている観光地はない。」と、この言葉が全てを物語っていると思います。要は素材の良さを、いかに活かしていくかに尽きると思います。

④東部下会場

- 幸せになれるように、よろしくお願ひします。
- 体育館は作らないのですか。
- 今後も、今回の方式で議会報告会を継続して欲しい。
- 今回のような分散会は、発言するのにしやすくていいと思う。
- これからの活気ある町づくりに尽力を賜りたい。
- 議会報告会で協議されたい内容及び結果をホームページ等にアップし、町の人へ情報発信しては。
- 参加者が各班に分かれて意見を出す場を設けていただき、最後に各班のとりまとめを発表いただき、参加者の意見が反映されたのが良かった。行政・議会に活かしていただきたい。
- 平和公園・夜間瀬川沿の桜の木を手入れして、春に見事な花を咲かせて欲しい。花見客が増えるのではないのでしょうか。
- フェイスブックをやっていないので、ラインでの情報発信が更に増えるとありがたいです。
- 議員定数を減らし、議員報酬を増やして、若い世代から議員になりたいという人を、増やして欲しい。
- 初めて報告会に参加しました。なかなか身近に感じられなかった議員さんと話せて良かったです。町政に関心を持つ、議員さんに関心をもてるきっかけになりました。町の維持、消滅町にならないようできることから始めたいと思います。議会と一般町民が身近に感じられる機会が多くあるといいですね。

⑤西部会場

- 頑張ってください。
- 魅力ある町づくりは、何かを考えて欲しい。
- 何事もやるのが小さい。
- これ以上人口が減らないような行政には何が必要か、皆で考えていかなければならないと思いますが、議員からも良いアイデアがあったら行政に働きかけてもらいたい。
- 子育て支援部署が力不足。しっかり検証してほしい。
- 初めて参加しました。身近な問題も改めて知ることができました。女性の声をもっと聴ける体制も必要かと思います。生活弱者の方々も安心して暮らせる町づくりに向けて、よろしくお願いします。
- 町を持続可能にするのが都市計画の肝ですので、専門の課の創設をお願いしたい。町には人口減にも耐えられるあり方を、考えるよう進めてもらいたい。
- 議員一人一人の目標と成果をわかりやすく表明し、見える化したらどうだろうか。
- 小学校の統合について（他地区での参考例もあると思うのですが）。
- 長野電鉄の利用を考えての一考はされたのでしょうか。（学生の利用が促進されれば、湯田中駅までの運搬は維持されると思うのですが）